2026 年 11 月 19 日

報道関係各位

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会（JCSSA）
〒100-6208 東京都千代田区丸の内 1-11-1
パシフィックセンチュリープレイス丸の内（受付 13 階）
Tel: 03-6860-8254
https://www.jcssa.or.jp/
連絡先 Email: tmikanohara@jcssa.or.jp

AI とセキュリティへの取り組み状況に関する 調査研究中間報告（中小規模一般企業対象）

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会（会長　林宗治）は、2026 年 9 月から 10 月にかけて、AI とセキュリティへの取り組みについて調査した。

最終報告書は 2027 年 3 月上旬に当協会ホームページにて発表予定だが、中間報告として中規模・小規模一般企業を対象とした調査結果の概要をここにお知らせする。

●調査対象企業

従業員 350 人以下の一般企業 700 社、および当協会会員の顧客企業約 300 社（従業員 21～2000 人程度）。但し、会員顧客企業のデータは現在集計・分析中である。一般企業では、従業員 2～20 人の小規模企業 50%、21～350 人の中規模企業 50%の構成比をターゲットとした。

対象企業数 ＼ 従業員数		2～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101～200人	201～300人	301人以上	平均
中規模一般企業	350社			101	98	81	49	21	122.9人
小規模一般企業	350社	174	176						7.3人

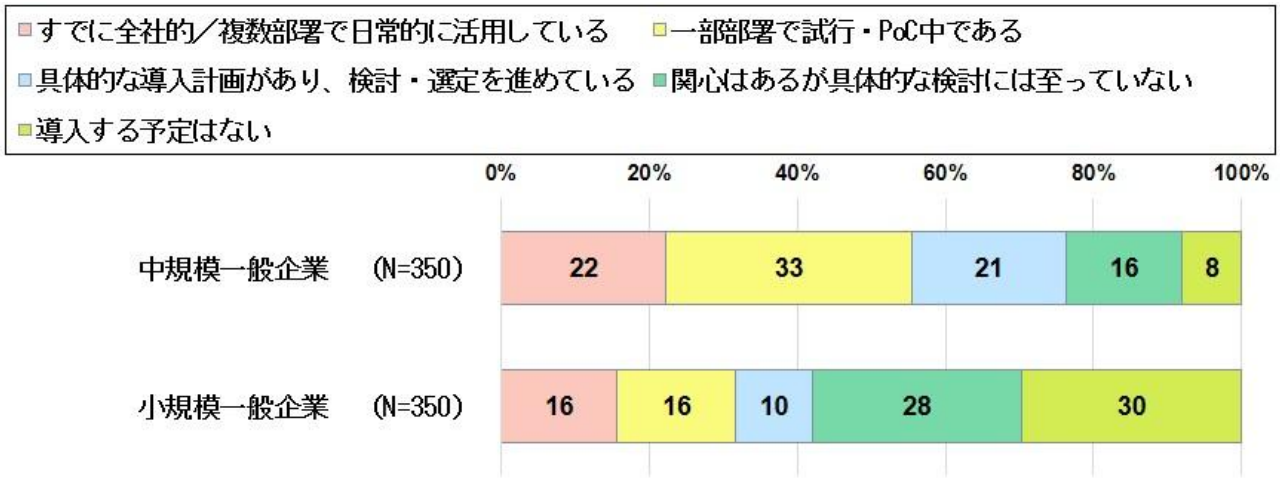
●調査結果のポイント

- **中規模の 76%、小規模の 42%が AI 製品を活用または導入に前向き**
- **関心がある AI サービス上位は「データ分析・予測」、「業務プロセス自動化」**
- **小規模の 43%が AI エージェントの活用に消極的**
- **セキュリティ対策の課題は「コスト・投資負担」が上位**
- **セキュリティ対策の運用状況では、企業規模により格差**
- **セキュリティリスク発生時に求めるサポートは、「システム復旧・業務継続支援」**
- **パソコンの OS 利用率は、中規模の 82%、小規模の 67%が Windows11**
- **タブレットの OS 利用率は、中規模と小規模ともに iOS が首位**
- **情報システム運用費は、中規模と小規模ともに増加傾向**

中規模の 76%、小規模の 42%が AI 製品を活用または導入に前向き

「AI 製品を活用・試行している」または「導入計画がある」と答えた中規模一般企業は 76%、小規模一般企業は 42%だった。「導入する予定はない」とした企業は、中規模一般企業が 8%、小規模一般企業が 30%で、3 倍以上の差であった。

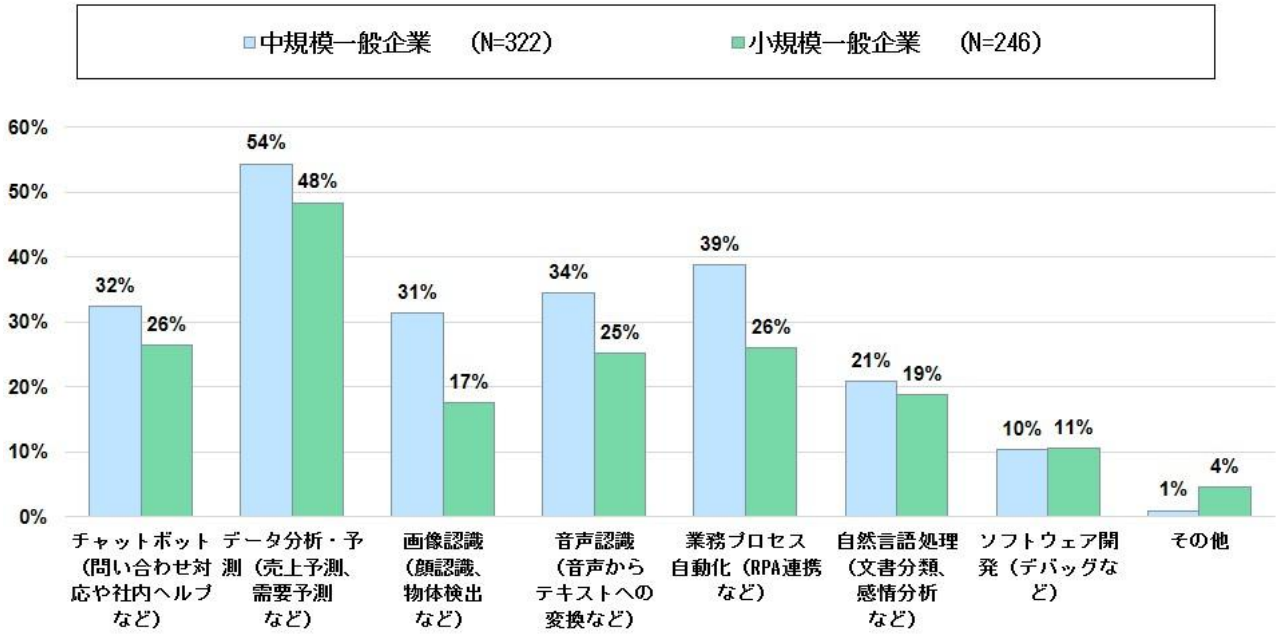
【AI への取り組み状況】（単一回答）



関心がある AI サービス上位は「データ分析・予測」や「業務プロセス自動化」

関心がある AI サービス上位は、中規模一般企業では「データ分析・予測」が 54%、「業務プロセス自動化」が 39%、「音声認識」が 34%であった。小規模一般企業では「データ分析・予測」が 48%、「チャットボット」と「業務プロセス自動化」が 26%であった。 企業規模を問わず「データ分析・予測」の関心が高い。

【関心がある AI サービス】（複数回答）

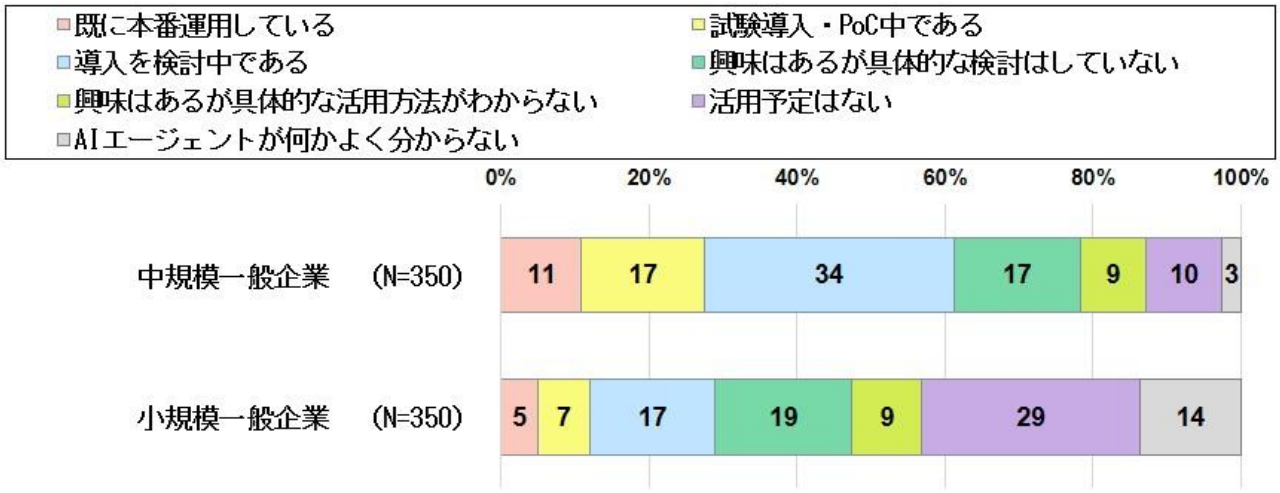


＊N は AI 製品について「活用・試行している」「導入計画がある」「関心がある」と回答した企業数

小規模の 43%が AI エージェントの活用に消極的

「AI エージェントの活用状況」を見ると、中規模一般企業の 62%、小規模一般企業の 29%が AI エージェントを「既に運用・導入中」、または「導入を検討中」と回答した。「活用予定はない」または「AI エージェントが何かよく分からない」と回答した小規模一般企業は 43%であった。

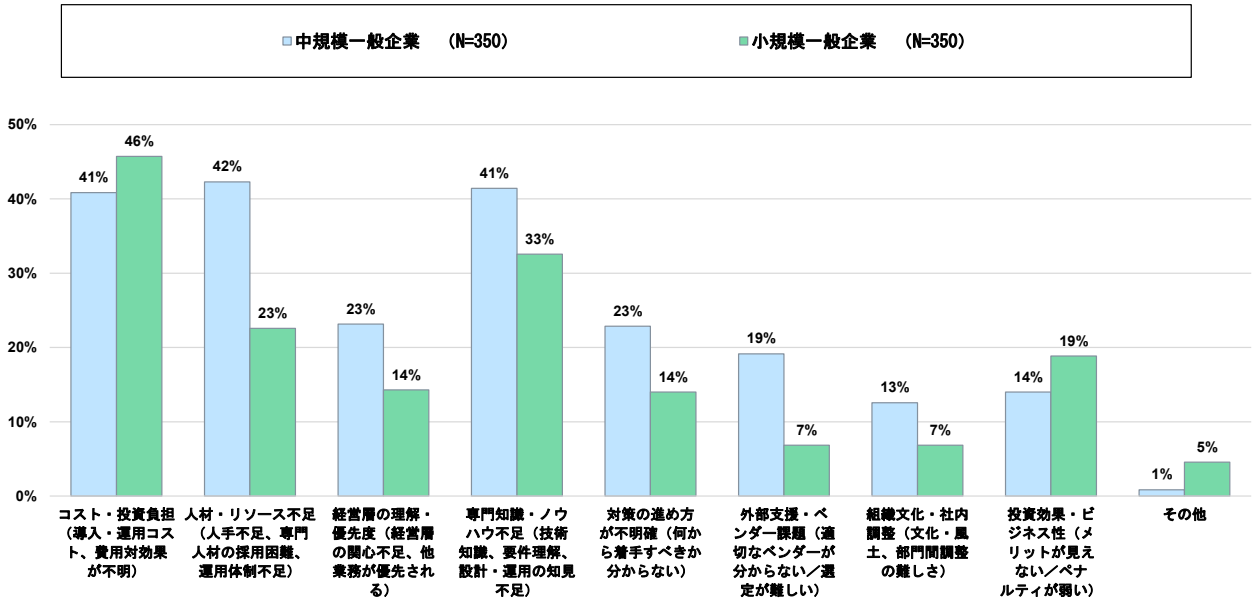
【AI エージェントの活用状況】（単一回答）



セキュリティ対策の課題は「コスト・投資負担」が上位

セキュリティ対策の課題の上位は、中規模一般企業では「人材・リソース不足」が 42%、「コスト・投資負担」と「専門知識・ノウハウ不足」が 41%であった。小規模一般企業では「コスト・投資負担」が 46%、「専門知識・ノウハウ不足」が 33%、「人材・リソース不足」が 23%であった。特に小規模企業においては、中規模以上にコスト負担の懸念が強い。

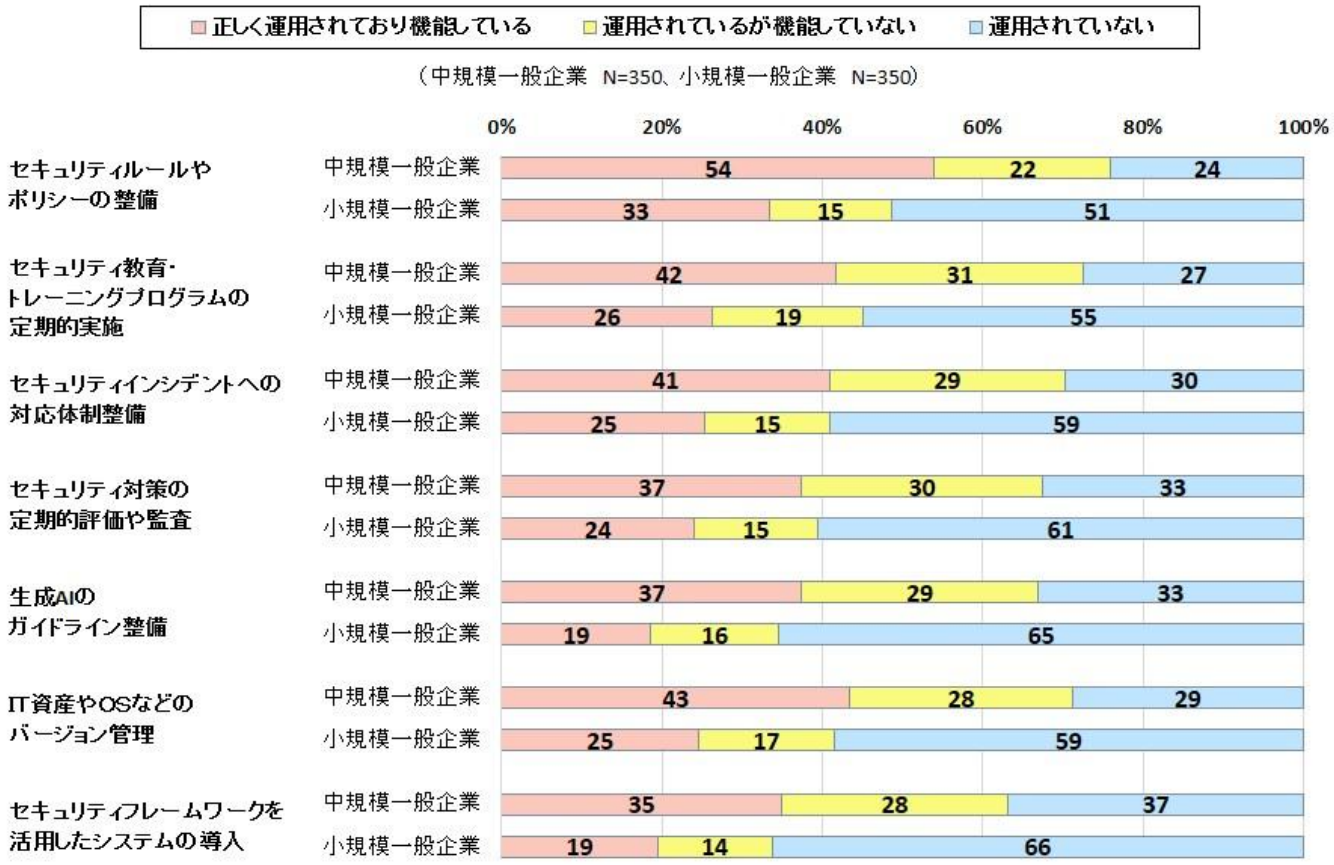
【セキュリティ対策の課題】（複数回答）



セキュリティ対策の運用状況では、企業規模により格差

セキュリティ対策の運用状況を見ると、中規模一般企業では、7 項目すべてにおいて「運用されている」という回答が 60%以上であった。特に「セキュリティルールやポリシーの整備」では 76%が「運用されている」と回答していた。一方、小規模一般企業では、7 項目すべてで「運用されていない」が 50%以上であった。

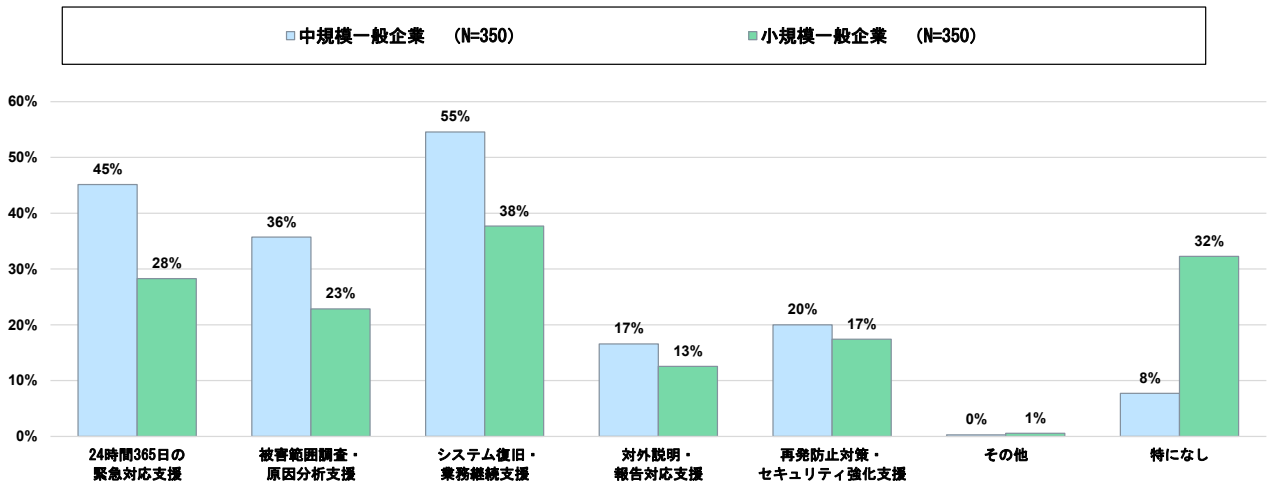
【セキュリティ対策の運用状況】（単一回答）



情報セキュリティリスク発生時に求めるサポートは、「システム復旧・業務継続支援」

「情報セキュリティリスク発生時に求めるサポート」を見ると、中規模一般企業では「システム復旧・業務継続支援」が 55%、「24 時間 365 日の緊急対応支援」が 45%、「被害範囲調査・原因分析」が 36%であった。小規模一般企業では「システム復旧・業務継続支援」が 38%、「24 時間 365 日の緊急対応支援」が 28%、「被害範囲調査・原因分析」が 23%であった。 企業規模を問わず「システム復旧・業務継続支援」が最も求められている。

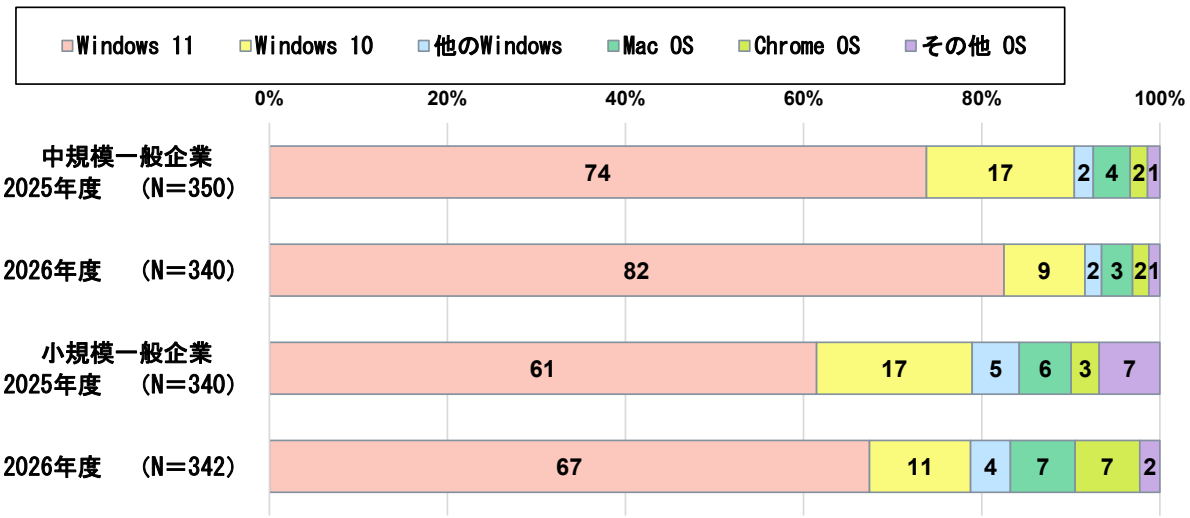
【情報セキュリティリスク発生時に求めるサポート】（複数回答）



パソコンの OS 利用率は、中規模の 82%、小規模の 67%が Windows11

パソコンの OS 利用率は、Windows11 が中規模一般企業では 8 ポイント増加し 82%であった。小規模一般企業では 6 ポイント増加し 67%であった。小規模一般企業の 11%は現在も Windows10 を使用している。

【PC の OS 別シェアの推移（台数ベース）】（自由記述）

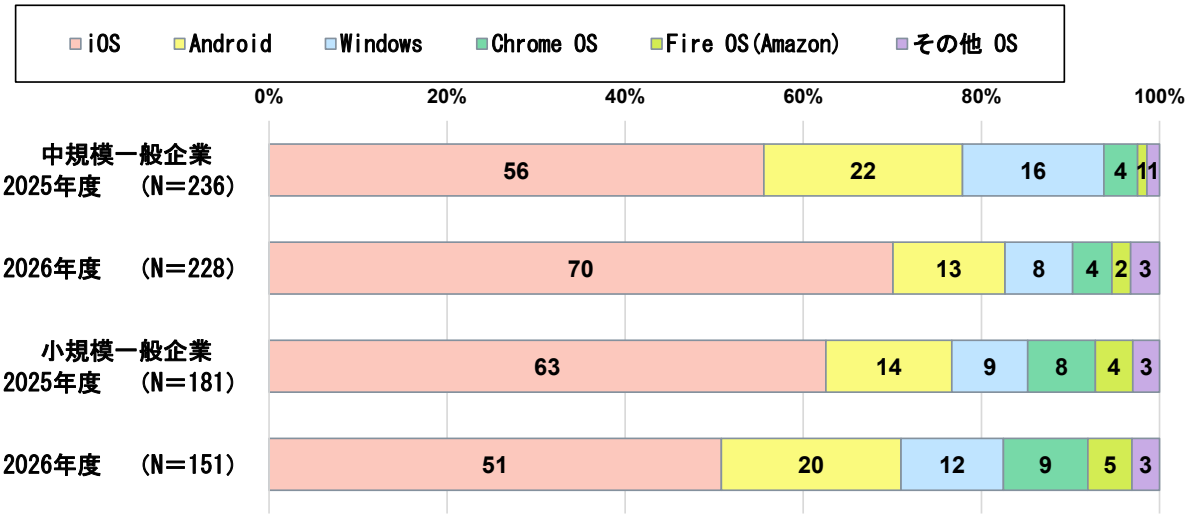


＊N は「パソコン保有台数１台以上」と回答した企業数

タブレットの OS 利用率は、中規模と小規模ともに iOS が首位

タブレットの OS 利用率を見ると、中規模一般企業では iOS が前年から 14 ポイント増加し 70%であった。小規模一般企業では Android が 6 ポイント増加し 20%となったが、iOS が半数以上を維持し、企業規模を問わず iOS が首位であった。

【タブレットの OS 別シェアの推移（台数ベース）】（自由記述）

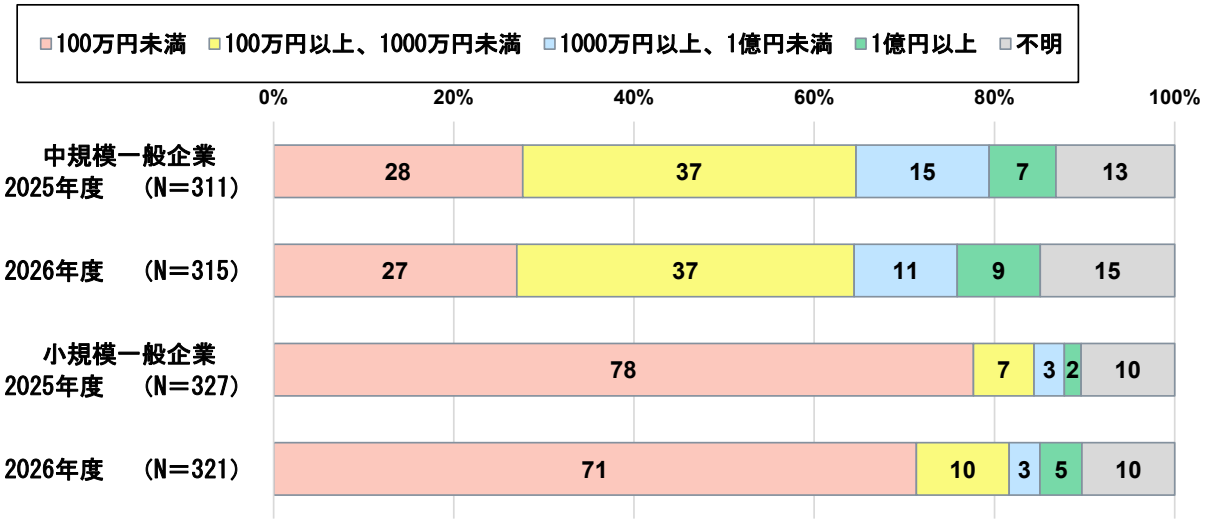


＊N は「タブレット保有台数1台以上」と回答した企業数

情報システム運用費は、中規模と小規模ともに増加傾向

今年度の情報システム運用費を見ると、100 万円以上と答えた企業の割合は、中規模一般企業では前年から 2 ポイント減少し 57%、小規模一般企業では 6 ポイント増加し 18%であった。また、1億円以上と答えた中規模一般企業は 2 ポイント増加して 9%、小規模一般企業は 3 ポイント増加して 5%であった。企業規模を問わず運用費は増加傾向にある。

【今年度の情報システム運用費】（単一回答）



＊N は別設問で「年間売上金額」を回答した企業数